『日刊木材新聞』
平成26年5月27日（火）

責任施工で無結露保証

調湿性や吸音機能も

デコス

古紙を原料に製造するセルロースファイバー（CF）断熱材「デコスファイバー」の製造から施工代理店を通じた責任施工までを供給するデコス（山口県下関市、安成信次社長）では昨年、埼玉県飯能市の関東工場が竣工した。エコファクトリー認定を受けた山口工場と合わせて2工場体制を構築した。

同社はCF断熱材を乾式で壁内に吹き込むデコスドライ工法で特許を取得済み。同工法の施工代理店は全国に64社あり、責任施工体制の下、製品内部に20年間結露が発生しない保証を付けて断熱材を販売している。

CFは高い断熱性に加えて、調湿性や吸音性といった付加機能を併せ持っている。

施工後の住宅で断熱性能を発揮するには、断熱材自体の性能に加えて、隙間なく確実な施工が必須。鉱物系など一般的な断熱材が大工職による施工に頼るなか、専門スタッフによる責任施工が同社の強みとなっている。

同社のCF出荷実績は一昨年を除けば14年間ほぼ一貫して増加傾向を示しており、棟数換算で昨年は前年比17%伸びた。今年も1割増を見込んでおり、住宅着工戸数が伸び悩むなかで着実にシェアを伸ばしている。

デコスファイバーは難燃性や防カビ性、撥水性を持つなどJIS規格に適合している。製造時のCO_2排出量が他の断熱材に比べ桁違いに少ない点を生かし、11年には建築用断熱材として日本で初めてカーボンフットプリント（CFP）制度の認定を受けた。CFPを基に住宅建築時のCO_2排出をJ－VERでオフセットする工務店もある。

責任施工の代理店が無結露20年保証を付けて販売する